



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月5日

上場会社名 富士機械製造株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 6134 URL http://www.fuji.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 信之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部部長 (氏名) 巽 光司 TEL 0566-81-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	45,284	4.9	6,914	21.1	7,268	20.6	4,922	14.9
27年3月期第2四半期	43,188	18.1	5,711	92.0	6,025	79.2	4,284	82.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,388百万円 (△45.8%) 27年3月期第2四半期 6,255百万円 (8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	50.35	—
27年3月期第2四半期	43.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	152,149	136,478	89.5
27年3月期	153,890	135,044	87.6

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 136,247百万円 27年3月期 134,825百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	20.00	28.00
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 平成27年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 4円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	△3.8	10,200	△15.5	10,800	△17.1	7,200	△16.6	73.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	97,823,748株	27年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	67,094株	27年3月期	66,950株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	97,756,702株	27年3月期2Q	97,757,949株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、平成27年11月9日に当社ホームページに掲載いたします。

(参考)

平成28年3月期の個別業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	△6.2	8,600	△24.1	9,200	△25.2	6,400	△21.4	65.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 地域に関する情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復は緩慢でしたが、設備投資は底堅く推移しました。世界経済は、欧州では景気の回復基調が持続しましたが、北米では個人消費は堅調に推移したものの製造業の設備投資は低迷し、中国においても景気減速基調から設備投資需要は低迷しました。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を!』のコーポレートスローガンのもと、変革にチャレンジし、世界有数のロボットメーカーとして独創性の高い製品開発に取り組むとともに、スピード経営を推進し、価格競争力の高い製品のタイムリーな市場投入に努めてまいりました。また、グループ会社間の連携及び代理店網の拡充による国内外の販売・サービス体制の強化やソリューション営業の推進により顧客満足度の向上に努めるとともに、サプライチェーンの強化や生産改革による徹底したQCD(品質・コスト・納期)の追求に取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は45,284百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて2,095百万円(4.9%)増加いたしました。また、営業利益は6,914百万円(前年同四半期比21.1%増)、経常利益は7,268百万円(前年同四半期比20.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,922百万円(前年同四半期比14.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 1) 電子部品組立機

車載関連基板及び産業用機器基板等に向けた新規設備投資需要は堅調に推移しましたが、スマートフォン等の携帯端末関連の設備につきましては市場の減速懸念から投資に慎重な姿勢が見られました。この結果、売上高は37,403百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて482百万円(1.3%)減少いたしました。営業利益は8,167百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

#### 2) 工作機械

工作機械の設備投資需要は自動車業界を中心に堅調に推移しました。この結果、売上高は7,255百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて2,382百万円(48.9%)増加し、営業利益は275百万円(前年同四半期:営業損失238百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、連結総資産合計は投資有価証券の減少等により前連結会計年度末と比べて1,740百万円減少し152,149百万円となりました。また、連結負債合計は未払法人税等の減少等により前連結会計年度末と比べて3,174百万円減少し15,671百万円となりました。

キャッシュ・フローにつきましては、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べて3,888百万円減少し50,319百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは4,882百万円の収入(前年同四半期:4,219百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは6,570百万円の支出(前年同四半期:5,369百万円の支出)となりました。これは主に有価証券の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,253百万円の支出(前年同四半期:887百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

電子部品組立機事業におきましては、先行きの不透明感から一部の顧客企業において設備投資に慎重な姿勢が見えはじめ、工作機械事業においても、国内及び北米の顧客の投資計画に一部遅れが見込まれることから、通期業績予想を見直した結果、平成27年5月8日に公表いたしました通期の連結の業績予想数値を下記のとおり修正いたします。

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	84,000	11,300	11,600	7,600	77.74
今回発表予想(B)	82,000	10,200	10,800	7,200	73.65
増減額(B-A)	△2,000	△1,100	△800	△400	—
増減率(%)	△2.4	△9.7	△6.9	△5.3	—
前期実績(平成27年3月期)	85,265	12,066	13,026	8,629	88.27

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	50,228	48,438
受取手形及び売掛金	17,450	19,493
有価証券	4,185	6,332
商品及び製品	6,561	6,985
仕掛品	14,570	14,581
原材料及び貯蔵品	6,766	6,327
その他のたな卸資産	12	—
その他	7,068	4,949
貸倒引当金	△65	△67
流動資産合計	106,779	107,040
固定資産		
有形固定資産	19,441	18,893
無形固定資産	5,331	5,664
投資その他の資産		
投資有価証券	21,672	19,781
その他	665	770
投資その他の資産合計	22,337	20,551
固定資産合計	47,111	45,109
資産合計	153,890	152,149
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,676	3,204
1年内償還予定の社債	600	300
未払法人税等	3,544	1,745
製品保証引当金	894	950
その他	5,746	6,700
流動負債合計	15,461	12,901
固定負債		
退職給付に係る負債	299	225
その他	3,084	2,544
固定負債合計	3,384	2,769
負債合計	18,845	15,671
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	5,413	5,413
利益剰余金	111,562	114,529
自己株式	△51	△52
株主資本合計	122,802	125,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,105	6,706
為替換算調整勘定	3,552	3,588
退職給付に係る調整累計額	364	182
その他の包括利益累計額合計	12,022	10,477
非支配株主持分	219	230
純資産合計	135,044	136,478
負債純資産合計	153,890	152,149

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	43,188	45,284
売上原価	26,192	27,048
売上総利益	16,996	18,235
販売費及び一般管理費	11,284	11,321
営業利益	5,711	6,914
営業外収益		
受取利息	57	71
受取配当金	140	177
為替差益	130	—
補助金収入	4	100
雑収入	56	128
営業外収益合計	389	478
営業外費用		
支払利息	8	4
支払手数料	65	6
為替差損	—	99
雑支出	2	13
営業外費用合計	75	124
経常利益	6,025	7,268
特別利益		
固定資産処分益	48	103
段階取得に係る差益	77	—
特別利益合計	125	103
特別損失		
固定資産処分損	90	155
その他	5	—
特別損失合計	95	155
税金等調整前四半期純利益	6,055	7,216
法人税、住民税及び事業税	2,087	1,877
法人税等調整額	△316	374
法人税等合計	1,771	2,252
四半期純利益	4,284	4,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,284	4,922

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	4,284	4,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,092	△1,399
為替換算調整勘定	971	6
退職給付に係る調整額	△92	△182
その他の包括利益合計	1,971	△1,574
四半期包括利益	6,255	3,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,255	3,377
非支配株主に係る四半期包括利益	—	11

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,055	7,216
減価償却費	2,655	2,346
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△195	△343
受取利息及び受取配当金	△198	△248
支払利息	8	4
固定資産処分損益(△は益)	42	52
売上債権の増減額(△は増加)	△4,607	△1,924
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47	24
仕入債務の増減額(△は減少)	213	△1,542
未収消費税等の増減額(△は増加)	68	1,597
その他	1,218	1,064
小計	5,212	8,247
利息及び配当金の受取額	198	249
利息の支払額	△8	△4
法人税等の支払額	△1,183	△3,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,219	4,882
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△3,000	△3,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,354	△2,441
有形及び無形固定資産の売却による収入	176	242
投資有価証券の取得による支出	△394	△106
定期預金の預入による支出	△45	△1,263
定期預金の払戻による収入	80	—
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による収入	169	—
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,369	△6,570
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社債の償還による支出	△300	△300
配当金の支払額	△587	△1,953
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△887	△2,253
現金及び現金同等物に係る換算差額	603	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,434	△3,888
現金及び現金同等物の期首残高	50,658	54,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,224	50,319

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,885	4,873	42,758	430	43,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1	1
計	37,885	4,873	42,758	431	43,190
セグメント利益又は損失(△)	7,377	△238	7,139	△52	7,087

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板設計製造及びソフトウェア開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,139
その他の区分の損失(△)	△52
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△1,375
四半期連結損益計算書の営業利益	5,711

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品組立機	工作機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,403	7,255	44,658	625	45,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1	1
計	37,403	7,255	44,658	627	45,286
セグメント利益又は損失(△)	8,167	275	8,442	△86	8,355

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子基板設計製造及びソフトウェア開発等を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,442
その他の区分の損失(△)	△86
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△1,442
四半期連結損益計算書の営業利益	6,914

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。

## 4. 補足情報

## (1) 受注及び販売の状況

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	38,207	83.6	37,885	87.7	9,967	61.9
工作機械	6,997	15.3	4,873	11.3	5,937	36.9
その他	494	1.1	430	1.0	193	1.2
合計	45,699	100.0	43,188	100.0	16,097	100.0

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	36,111	81.3	37,403	82.6	10,396	53.4
工作機械	7,702	17.4	7,255	16.0	8,864	45.6
その他	583	1.3	625	1.4	193	1.0
合計	44,397	100.0	45,284	100.0	19,454	100.0

前連結会計年度(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
電子部品組立機	75,627	82.2	73,584	86.3	11,688	57.5
工作機械	15,361	16.7	10,756	12.6	8,417	41.4
その他	1,030	1.1	924	1.1	235	1.1
合計	92,019	100.0	85,265	100.0	20,341	100.0

## (2) 地域に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	4,324	22,249	6,241	4,660	1,165	3,738	809	43,188
構成比(%)	10.0	51.5	14.4	10.8	2.7	8.7	1.9	100.0

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	8,594	17,276	5,041	6,276	1,901	5,002	1,192	45,284
構成比(%)	19.0	38.2	11.1	13.9	4.2	11.0	2.6	100.0

前連結会計年度(自平成26年4月1日至平成27年3月31日)

	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
売上高(百万円)	9,903	37,856	12,082	11,100	2,694	9,953	1,674	85,265
構成比(%)	11.6	44.4	14.2	13.0	3.1	11.7	2.0	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

平成28年3月期 第2四半期決算発表

平成27年11月5日  
富士機械製造株式会社  
(コード番号 6134 東証・名証第一部)

1. 当期の連結売上高・収益の第2四半期連結累計期間実績と通期予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間実績	45,284	4.9	6,914	21.1	7,268	20.6	4,922	14.9
通期予想	82,000	△3.8	10,200	△15.5	10,800	△17.1	7,200	△16.6

2. 当期の個別売上高・収益の第2四半期累計期間実績と通期予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期累計期間実績	40,718	0.1	5,738	3.9	6,162	5.0	4,306	6.1
通期予想	74,000	△6.2	8,600	△24.1	9,200	△25.2	6,400	△21.4

3. 当期の連結受注高・売上高の第2四半期連結累計期間実績と通期予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間実績	通期予想	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
電子部品組立機	36,111	64,500	37,403	67,000
工作機械	7,702	14,000	7,255	13,500
その他	583	1,500	625	1,500
合計	44,397	80,000	45,284	82,000

4. 当期の主な科目の第2四半期連結累計期間実績と通期予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位：百万円未満切捨)

科目	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
設備投資額	2,475	5,900
減価償却実施額	2,346	4,800
研究開発費	3,375	6,700